



平成27年4月24日

各 位

会社名 日本製粉株式会社

代表者名 代表取締役社長 小寺 春樹

(コード番号2001 東証第1部)

問合せ先 理事 広報部長 満生 潔

(TEL. 03-3350-3900)

**当社連結子会社(オーケー食品工業株式会社及び東福製粉株式会社)の
業績予想の修正について**

当社の連結子会社であるオーケー食品工業株式会社(JASDAQ・証券コード 2905)は、平成26年11月7日に公表した平成27年3月期通期業績予想を別添資料のとおり修正いたしました。

また、東福製粉株式会社(東証第2部・福証：証券コード 2006)は、平成26年11月7日に公表した平成27年9月期第2四半期(累計)連結業績予想及び平成27年9月期通期連結業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

なお、これらによる当社の平成27年3月期通期連結業績予想に与える影響は軽微であります。

以 上



平成27年4月24日

各 位

上場会社名 オーケー食品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 大重 年勝
(コード番号 2905)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 城後 精二
(TEL 0946-22-2000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年11月7日に公表いたしました平成27年3月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	35	25	10	0.27
今回修正予想(B)	9,050	120	110	90	2.43
増減額(B-A)	250	85	85	80	
増減率(%)	2.8	242.9	340.0	800.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	8,554	△40	△62	△72	△1.94

修正の理由

売上高につきましては、主に国内・海外向け「味付け揚げ」の売れ行きが好調に推移したことにより、予想値を上回る見通しとなり、利益面におきましても、売上高の増加に加え、原油安による動力費の低下及び生産量の拡大による製造原価率の低下等により、予想値を上回る見通しであるため上方修正いたします。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上



平成27年4月24日

各 位

上場会社名 東福製粉株式会社
 代表者 代表取締役社長 野上 英一
 (コード番号 2006)
 問合せ先責任者 取締役執行役員総務部長 山口 雄治
 (TEL 092-781-1661)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年11月7日に公表いたしました通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年9月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,782	6	△1	△4	△0.40
今回修正予想(B)	1,630	△20	△30	△140	△14.00
増減額(B-A)	△152	△26	△29	△136	
増減率(%)	△8.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年9月期第2四半期)	1,738	42	42	34	3.43

平成27年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,440	10	7	3	0.30
今回修正予想(B)	3,220	△60	△70	10	1.00
増減額(B-A)	△220	△70	△77	7	
増減率(%)	△6.4	—	—	233.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年9月期)	3,344	12	△4	△10	△1.07

修正の理由

第2四半期累計期間におきましては、新規開拓先の拡大など販売強化に努めてまいりましたが、個人消費の低迷や一部大口需要先への販売数量の減少、低価格志向を背景とした販売競争による粗利の低迷など、厳しい経営環境下にありました。また、鹿児島所在の賃貸資産については、遊休化したことにより特別損失1億1千万円を計上いたします。これらの影響により、第2四半期累計期間の業績予想に関しましては、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益とも予想を下回る見込みです。

通期業績予想に関しましては、今後も当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くことが見込まれ、販売面での激しい価格競争が続くものと予想されます。当社といたしましては、更なる販売拡大やコスト削減等を行ってまいりますが、売上高、営業利益及び経常利益は予想を下回る見込みです。当期純利益は、資産売却等により予想を上回る見込みです。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手される様々な情報に基づいて作成したものであり、将来の業績を確約したり、保証するものではありません。

以 上